

派遣留学プログラム 月間報告書

(報告期間 12/1~12/31)

1. 勉学の状況

今月は私が履修している全ての授業の final exam がありました。どの授業でも、試験時間は三時間で、早く解き終わった人から退室するという流れでした。心理学の授業は二つとも中間試験と問題形式はほぼ変わらず、選択問題と少しの記述という様式でした。国際関係学は中間試験がなかったため、初めての試験でした。出題形式は、定義と単語をマッチさせる問題、授業の小テストの中から数問の選択問題、短めの記述問題とエッセイのような長い記述問題でした。教授が留学生に電子辞書の持ち込みを許可してくださったため、書きたいことをすべて書く事ができましたが、文を組み立て、考えるのに時間がかかり、退出したのは最後から三番目くらいでした。

今回のテストは、授業が一週間前くらいに終わり、すぐにテスト期間に入る所以勉強する時間はたくさんありましたが、勉強時間の配分を間違えてしまい少し大変でした。具体的に、私は記述が苦手なので、国際関係学ばかり復習していましたが、そのテストは全体のグレードの 25% でした。一方、一番最後にあった心理学のテストは全体グレードの 40% でした。私はその事に気がつくのが遅れて、テスト前日にほぼ徹夜で詰め込む形になってしまいました。来期はシラバスをよく見て、慎重に計画を立てようと思いました。

2. 生活の状況

今月は、最終試験が終わるまでの期間はご飯を食べに行ったりする以外、ほとんど大学にいました。レジャイナ大学の図書館は普段は午後 11 時に閉館なのですが、テスト期間は午前二時まで開館していました。ほかにも、寮の中に勉強できるスペースがあったりと、環境がかなり整っています。私は、ずっと同じ場所だと飽きてしまうので場所を変えながら勉強していました。

また、日本からの交換留学生以外のほとんどの交換留学生は 1 タームで帰国してしまうため、多くの友達とお別れしました。テストも控えていて、友達との別れもたくさんあり、感情がとても忙しかったです。特に韓国からの留学生とは一緒に図書館で勉強したり、料理を作りあったりと、いつも一緒にいたのでとても悲しかったです。一週間で何回もお見送りをしに空港へ行きました。せっかく仲良くなった友達がいなくなってしまうのはとても悲しいです。

テストを乗り切った後は、待ち焦がれた冬休みです。私はアメリカに旅行に行きました。行きたい場所がすべて東海岸側だったため、すべて回ることに決めました。ミシガン、ニューヨーク、フロリダに行きました。昔のホストファミリーに再会したり、千葉大からアメリカに留学している友達に再会したりと、とても楽しく、充実した旅行でした。思いっきり冬休みを満喫できたので、これを糧に冬学期も切り替えて頑張っていく

たいと思います。

プーティーン (カナダの代表的な食べ物)



クリスマスには友達とシークレットサンタをしました。



アメリカのホームステイ先で本格的なクリスマスをお過ごししました。



年越しはニューヨークのタイムズスクエアで過ごしました。12 時間以上待つのはとても大変でした。





冬休みにフロリダのディズニーワールドに行きました。東京とは比べものにならないくらい大きかったです。